



市長の

全力！まち取材

市長が市内のさまざまな場所を取材し、紹介するコーナーです。
市長が全力で市内を巡り、皆さんの声を聴き、キラリと輝く戸田の宝を発掘します。



第21回

今回伺ったのは

株式会社神戸屋東京工場

神戸屋のパンを食べて幸せな気分になってほしい

昭和31年に戸田市に工場が設立されてから、60年を超える長い歴史を持つ神戸屋東京工場。今回市長は、菓子パンを中心にたくさんのパンをつくっている製造工場を見学しました。「定番商品から新しい商品まで1日にたくさんのパンをつくっています。工場は機械化されていますが、手作業でつくっているところもあるんです」と話す青木和也社長に「これ、手づくりなんですか！ 機械化が進んでも、手作業でつくっている部分があるなんて素敵ですね」と驚く市長。さらに青木社長は、パンづくりで最も大切にしていることは、「お客様満足」と教えてくれました。「お客様に神戸屋のパンを食べて幸せな気分になっていただくことが、私たちの幸せです。お客様の視点に立つことを心掛けて、日々パンをつくっています。そこは、他の企業にも絶対に負けないですね」とパンづくりへの熱い思いを語ってくれました。

市長がパンづくりを体験！

そして、市長も社員の皆さんにサポートしてもらいながら、パンづくりを体験することに。「難しい！ 皆さん簡単そうにこなしていますが、大変な作業ですね」と悪戦苦闘する様子に、「パンをつくるのは時間がかかりますし、細かい作業が多く苦労することもあります」と話す青木社長。「こんなに近くでパンをつくる作業を見ることができて、貴重な体験でした」と終始感動した様子の市長でした。



パンづくりについて詳しく話を伺いました！



市長がパンの製造過程の一部を体験！

monthly photo
今月のパチリ



神戸屋東京工場に入るための作業着姿！ こちらの工場では、社内基準に基づき、厳しい衛生管理を徹底しています。今回の取材では、実際に市長もこの厳重なチェックを受けて工場に入場しました！

株式会社神戸屋東京工場

神戸屋グループの中で、主に関東エリアのさまざまなパンの製造を行う企業。昭和31年、平成22年にそれぞれ工場を戸田市に設立しました。新鮮な材料だけを使い、食品添加物などは極力使わないという「Fresh&Pure」の方針のもと、安全・安心なパンづくりを行っています。工場の入り口には売店もあり、地域の皆さんに愛され続けています。

市長が市内の企業や事業所など、皆さんのところへ取材に行きます。
申し込みは政策秘書室まで（内線438）。
※詳しくは市ホームページをご覧ください

取材を終えて市長は

驚くほど衛生管理がしっかりと徹底された環境で、安全・安心なおいしいパンをつくっているということがよく分かりました。工場内を見せていただき、皆さんが熱い思いでつくっているからこそ食べた人が笑顔になる素敵なパンをつくれるのだと思いました。僕も日々お世話になっていますが、地域の皆さんにとっても大切な存在です。ずっと美味しいパンをつくっていて欲しいですね。



オリパラ種目紹介：カヌー競技

東京2020大会を身近に感じてもらうために、大会・競技に関する内容を紹介します。
今回は、カヌー競技をピックアップ！ 問い合わせ 文化スポーツ課（内線339）

注目はココ！

オーストラリアもカヌー競技に出場！

7月に戸田市でトレーニングキャンプを行う、オーストラリア代表カヌーチーム（スプリント）も出場します。みんなで応援しましょう！

大きく異なる2つの種別！

オリンピックのカヌー競技は、「スプリント」と「スラローム」の2種があります。パラリンピックでは「スプリント」の1種となります。



スプリント

流れのない直線コースで一斉にスタートし、着順を競います。全速力で漕ぎ抜けるスピード感が見どころ。距離は200m、500m、1000mの3種類です。



スラローム

激流を下りつつ、吊るされたゲートを通りタイムと技術を競います。激しい急流の中での艇を操るテクニックに注目！ 距離は200mのみです。

写真提供：PaddleAustralia/SteveMcArthur